

7月の夜

蛍がところどころで瞬いていました。

田んぼの用水の脇、そしてようやく株も増え、しっかり伸びてきた稲の葉先。

幽かに聴く、虫の声よりもにぎやかな蛍の夜はまだのようです。

稲の隙間に満たされた海が天空の月を切り取り、蛍の灯りに挑戦していました。

涼しい夏の夜でした。



Maki Rouel 2000, 6, 22